

区の評価及び意見(区役所地域担当)

【旭区】 (受託者:一般財団法人大阪市コミュニティ協会・(株)関西総合研究所)

1 取組実績の評価(1)

項目		ア 支援実績に対する評価	イ 支援の有効性に対する評価	ウ 課題分析と改善策等に対する評価
事業の実施状況	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況	地活協ラウンドテーブル(ワークショップ)や防災まち歩きの実施を支援することにより、地域課題やニーズの把握につながった。	地域課題やニーズの把握及び共有に有効な支援であった。	継続的なワークショップの開催などにより、より一層の地域課題等の把握及び将来ビジョンの共有に努めていただきたい。
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況	ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援等による地域活動協議会の広報活動を支援することにより、地域住民同士のつながりが拡充された。 防災点検まち歩きの実施支援、地域活動協議会構成団体長会議や、小学校土曜授業等への参画により、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働が促進された。	地域住民同士のつながり拡充、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働促進、区内における地域活動活性化に有効な支援であった。	地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、より効果的な広報活動を検討されたい。 地域活動協議会の構成団体や各部会の横のつながりがより一層強くなるような取り組みを検討されたい。
	(3)「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況	様々な意見が反映されるような会議等の開催支援、会計ソフトの提供等による会計担当者への支援、ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援により、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保された。	民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保に有効な支援であった。	組織運営、会計や広報について、蓄積されたノウハウの共有・継続が地域活動協議会内でより一層図られるよう検討されたい。
	(4)「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)	-	-	-

2 取組実績の評価(2)

項目		ア 支援実績に対する評価	イ 支援の有効性に対する評価	ウ 課題分析と改善策等に対する評価
事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の実施状況 (企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)	プロボノ活用により、民間助成金の活用などを自ら申請するなど、変わっていきこうとする意識の向上が見られた。また、市民協働スペース「旭まちづくりサロン」の開設運営が円滑に行われた。	区内における地域活動の活性化に有効な支援であった。	民間助成金の活用や、企業との連携など、地域活動の活性化により一層有効なものとなるよう支援を検討されたい。
	(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制	事業実施体制は、本区の求める水準に達していた。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施に有効な支援であった。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施のための支援がより一層効果的に行われるよう検討されたい。
	(2-2)フォロー(バックアップ)体制等	プロボノ活用やホームページ作成支援について、専門スタッフによるバックアップが行われていた。	地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進、地域住民同士のつながり拡大に有効な支援であった。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施のための支援がより一層効果的に行われるよう検討されたい。
	(3)区のマネジメントに対応した取組	連絡調整のため会議を定期的に行い、区との連携が図られていた。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施に有効な支援であった。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施のための支援が効果的に行われるよう、引き続き区との連携を図られたい。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)に関する評価

支援策(取組)名称	ア 支援実績に対する評価	イ 支援の有効性に対する評価	ウ 課題分析と改善策等に対する評価
将来ビジョン及び地域課題等の把握のためのワークショップの開催	ワークショップ等で課題を共有することで、地域内構成団体相互の関係づくりに繋がった。 将来ビジョン共有のための支援が必要。	地域自らが変わろうとする動きが見受けられるようになるなど、支援が有効であったと感じる。	ワークショップの継続的な開催などにより、より一層の地域課題等の把握及び将来ビジョンの共有に努めていただきたい。
より幅広い現役の地域活動者層が担い手として活躍できる機会になるような「まちづくりラウンドテーブル」の開催。	構成団体長会議等の中で、具体的にモデルケースを提示しながら、意見を聞いて、必要性を訴えた事により理解が進んだ。	地域活動協議会の内部の連携・協働が進み有効であった。 今後は外部との連携が課題である。	多様な担い手が活躍できる機会や場の創設を図っていただきたい。
横のつながり強化(部会活動への支援・参画)及び、自立に向けた積極的支援(会計・広報)	組織運営、会計、広報等の必要性等を重点的に訴え、きめ細かく対応できたことが効果に繋がった。	ニーズに沿ったきめ細やかな支援が有効であった。	引き続き、自律に向けたニーズ把握と、地域に応じたきめ細やかな支援を行っていただきたい。

4 取組効果の評価(アウトカムに対する評価)[上記3の内容も含めて]

項目	ア 取組効果に対する評価	イ 問題点の要因分析に対する評価	ウ 今後の改善策等に対する評価	
(1) アンケート調査 ・地域が自律的に運営されていると感じている割合 〇〇%以上 ・課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合 〇〇%以上	まちづくりセンターの支援が役に立っているとの回答割合が71.9%で、目標である70%に達している。 自律的な地域運営に取り組んでいるとの回答割合が43.0%で、目標である50%には至っていない。	地域活動協議会や自律的な地域運営の意義については、より一層の理解の浸透を図る必要がある。 広報や会計事務についての支援ニーズがあり、当該分野の支援を継続して行うことが必要。	アンケート結果を踏まえ、ニーズに対応した支援を検討されたい。	
目標等の達成状況	(2-1) 「I 地域課題への取組」の達成状況	ワークショップを実施することにより、地域課題やニーズの把握につながった。	地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるようラウンドテーブル等の実施し、より一層の地域課題やニーズの把握及び共有を検討されたい。	
	(2-2) 「II つながりの拡充」の達成状況	ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援等による地域活動協議会の広報活動を支援することにより、地域住民同士のつながりが拡充された。 防災まち歩きの実施支援、意見交換会やワークショップを継続的に開催することにより、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働が促進された。	地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、効果的な広報活動の充実が必要。 地域活動協議会の構成団体が、より一層互いに連携協力して事業実施することが必要。	
	(2-3) 「III 組織運営」の達成状況	総会等の開催支援、会計ソフトの提供等による会計担当者への支援、ホームページの運営支援やかかわら版の作成支援により、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保された。	組織運営、会計や広報について、蓄積されたノウハウが広く共有できるしくみが必要。	地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、より効果的な広報活動を検討されたい。(ガイドブックの作成) 地域活動協議会の各部会の横のつながりが、より一層強くなるよう検討されたい。(部会活動のより一層の充実) 市民協働スペース「旭まちづくりサロン」が、地域活動団体のニーズに対応し、より一層の活動支援につながるよう検討されたい。
	(2-4) 「IV 区独自取組」の達成状況	—	—	—
(3) その他の効果のあった内容	特になし	特になし	特になし	

## 5 総合評価

総合評価 I	(1) 地域課題等の把握・分析・整理	組織運営、つながりの拡充、地域課題への取組みの各分野について支援を行う中で、地域が自ら変わろうとする動きが見られている。人材の発掘こそ、自律的な地域運営に向けた近道であると感じている。
	(2) 目標(支援策)の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	自律的な地域運営に向けて、つながりの拡充、地域課題への取組みにかかる支援の中でも、地域活動協議会と他の活動主体同士の連携・協働【外部との連携・協働】が進むような具体的な支援(まちづくりカフェ)を行うと共に、自律に向けたニーズ把握と、地域に応じたきめ細かな支援を行う。
	(3) 区のマネジメントに合った取組	連絡調整のため会議を定例的に行い、区との連携を図り、認識共有し、各地域活動協議会に応じた支援を実施してきた。
II		
総合評価 II	総合評価(全体)	地域課題やニーズの把握及び共有、地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進、地域住民同士のつながり拡充、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働促進、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保、区内における地域活動活性化支援が有効に実施されたことを評価する。 今後、自律的な地域運営に向けて、地域のビジョンや課題の共有化をより一層図る支援が必要である。